

平成21年度出雲エネルギーセンター環境監視業務 環境監視結果概要

項目	実施地点・範囲	実施時期・頻度	平成21年												平成22年			内容・結果			
			4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	1日	2日	3日							
事業実施状況	施設の建設工事	事業区域内	平成13～14年度	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	平成13～14年度に終了。	
	施設の稼働	事業区域内	平成15年度～	■												平成15年度より稼働開始。					
環境監視調査	大気質	地上気象大気質	事業区域周辺集落1地点	2回/年					●								●		施設周辺の集落において環境基準等の項目を測定。夏季調査時(8月)浮遊粒子状物質が168データの内の1データが基準値を超えた。		
		排ガスダイオキシン類	施設内	2回/年					●									●		2系列それぞれの排ガス中ダイオキシン類を測定。法規制値及び施設保証値を十分に満足している。	
	騒音	道路交通騒音	事業区域周辺道路2地点	1回/年														●		施設へのアクセス道路2地点において測定。環境基準B類型(道路に面する地域)の基準値65デシベルを上回っているが、事業実施前と比べて大きな変化はみられない。	
		一般環境騒音	事業区域周辺集落1地点	1回/年														●		最も近い民家において測定。環境基準B類型(道路に面しない地域)の基準値(昼間55デシベル・夜間45デシベル)を満足しており、事業実施前と比べて大きな変化はみられない。	
	振動	道路交通振動	事業区域周辺道路2地点	1回/年														●		施設へのアクセス道路2地点において測定。人間の振動体感閾値(55デシベル)を十分に下回っており、事業実施前と比べて大きな変化はみられない。	
		一般環境振動	事業区域周辺集落1地点	1回/年														●		最も近い民家において測定。人間の振動体感閾値(55デシベル)を十分に下回っており、事業実施前と比べて大きな変化はみられない。	
	交通量	交通量	事業区域周辺道路2地点	1回/年														●		施設へのアクセス道路2地点において測定。通行車両台数は1,662～2,105台であり、事業実施前(約1,000～1,100台)と比べて増加しているが、パッカー車(No.1地点101台、No.2地点20台)の増加よりも全体交通量の増加によるものである。	
	水質	水質	事業区域周辺調整池1地点	1回/年					●											施設下流の調整池にて環境基準等の項目を測定。全ての項目、地点において環境基準を満足していた。	
	底質	底質	事業区域周辺調整池1地点	1回/年					●											施設下流の調整池にて重金属やダイオキシン類等の項目を測定。ダイオキシン類は環境基準値を十分に満足しており、その他についても前年度とほぼ同様の結果となっている。	
	植物	植生(植物群落)	事業区域周辺半径500m	1回/年						●										施設周辺において調査を実施。今回確認した注目すべき種は、哺乳類3種、鳥類2種、両生類1種、昆虫類16種、植物9種であった。また、既に確認されていた種の新たな生息地も確認された。	
		植物相(出現種)		1回/年						●											
	動物	ほ乳類	事業区域周辺半径500m	1回/年						●										土地の改変は完了しており、事業実施前に施設敷地内には特筆すべき種の動物及び植物は確認されなかったこと、近傍で確認された特筆すべき種が今年度も確認されたこと、新たに特筆すべき種が確認されたことから、工事及び施設稼働による影響はないもの(なかったもの)といえる。	
		鳥類		1回/年														●			
		両生類		1回/年							●										
		は虫類		1回/年							●										
	昆虫類	事業区域周辺半径1km	1回/年						●												
悪臭	悪臭・臭気	施設敷地境界1地点	2回/年					●									●		風下の敷地境界において測定。規制基準等を十分に満足している。		
土壌	土壌	事業区域周辺集落7地点	1回/年					●											施設周辺の集落において環境基準の項目を測定。環境基準値を十分に満足している。		